新家青果 SDGs マッピング

	新家育来 SDGS マッピング						新	家青男	見が					100	2 ***	3	4 *****	5 100,000	6 *****	7	8 min	9	10 ******	n inter	12 11111	13 :::::	M. Sana	15	15 ······	9	合計数				優先課題
						いる	ま取り:	組んで	でいる	こと				tittit	-111	-W.	MI	⊜,	Ā	0	* ###	- 🚳 -	-€×	ABUS	∞	0	×	*	×	***	(参考値)	現在の取り組み+	これから取り組むこと	将来の目指すべき場所	(優先順位)
		0	0	0)		0			(食・人				環					食・農			食・農・				フェーズ1	フェーズ 2	フェーズ3	
		認 G 定 L O B A L G	機 J A S 認	化事業	1 3	· 皮 の か 再 コ	F & 1	育 入 版	ガ 二 ツ		陽 光 エ ネ ル	日本 大東 智生	がい者雇用	 貧困 をなくそう 	2. 飢餓 をゼロ	ての人に	高い数制をみんな	ンダー平	な水とト イレを世	ルギーを みんなに	がいも経 済成長も	と技術革	国の不平 等をなく	続けられ	12, つく る責任 つかう責 任	変動に具	豊かさを	豊かさも	と公正を すべての 人に	トナー					
		A P					長期		材の	極登	1 (5	至 元																							
経営方針	「卆」経営の実践	•	•	•	4	•	• •	•	• •	•	•	•	•				-	-			-			-							0	THE STREET COURSE COURSE A MARKET COURSE OF COURSE			
経営方針	寺統可能な農業経営	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	1	1	1	1		1		1			1		1	1	1			10	面積当たりの収穫量(収率)を伸ばせておらず、収 益面の課題がある。そのためオーガニック経営を実 践する農家が増えていない。 (現状は5ha当たり100t)		Sha当たり200tにすることでオーガニック 経営実践農家を増やす	2
経営方針	食の地産地消			•	٠ ،	•	•	•						1	1		1					1		1		1		1			7	フードマイレージを意識すると 業務用に北海道産玉葱を仕入れているが 北海道→淡路島→京都・愛知へ逆流が起こっている	納品先に近い工場から出荷するための仕組みづくり	北海道・関東・愛知に白社の工場を設置	
経営方針	オーガニック食材の普及促進			•				•	•			•		1	1	1	1		1		1	1			1		1	1		1	11	面積当たりの収穫量(収率)を仲ばせておらず、収 益面の課題がある。そのためオーガニック経営を実 践する農家が増えていない。 (現状は5ha当たり100t)	・よい土壌をつくるための技術の向上	5ha当たり200tにすることでオーガニック 経営実践農家を増やす	2
環境系	廃棄物の削減、リサイクルの促進(堆肥化含む)	•		•		•	•	•		•									1						1			1			3	・ 白家堆肥化は実践している ・ 玉蔥皮の再利用	地域のバイオマス (汚泥含む) を利用した事業まで 至っていない。 - 王悪皮の新たな再利用方法に関する情報収集	・タマネギの皮を利用した色素抽出を行う。 ・皮を使った新技術による有効物質の抽出 について研究する (例:セルロースナノ ファイバー)	3
環境系	说炭素社会	•		•	١,	•				•	,									1						1					2	・冉エ不導人による駅灰素化。太陽光発電パネルの 設置済み。現在会社全体の42%をまかなっている。 (冷震虚響気代の70%)	・排出量の見える化	2030年までに事業に伴うCO2排出量を半分 にする	4
環境系	也球環境の保全	•	•	•		•	•	•	•	•	,	•							1	1				1	1	1	1	1			7	1 Jan 200, 100, 001, 101, 111, 111, 111, 111,			
環境系	主態系の保護	_	•	_	_		_	_	•	•	,	•							1								1	1			3	■環境にやさしい「有機栽培」「GLOBAL GAP」を	「有機栽培」「GLOBAL GAP」の面積を増やしつ	成功させた後慣行栽培の農地にも有機栽培 で培ったノウハウを慣行栽培にも活かす事	
環境系	農地の地力維持向上		•	-	_	_	_	•	_	_		•															1	1			2	実践中	つ、慣行栽培においても応用可能な手法の研究	で環境・生態系・農地の保護や安全な食品	
環境系、人	農薬、化学肥料利用の低減	•	•	-	_	_	• '	_	•	٠.		•	-			1		+			-			-	-			1			2	4		の供給拡大させる	
人系	食品の安全性向上 仕事のやりがいの確保	•							•		•	Ť	•			1					1				1						2	 ・社員による改善提案の積極採用 ・白社が取り扱う商品の理解(味・機能性・環境負荷など)促進 	自社が取り扱う商品の理解(味・機能性・環境負荷 など)の更なる促進により、働きがい、やりがいに 繋げる必要がある		
人系	食を通じた(次世代)教育			•		•	•	•	•			•		1	1	1	1		1		1	1		1	1		1	1	1	1	13	社員の一部に対する教育を実施中	社員会員が、新家青果ではたらく者や次世代の子供 たちに対して、もっと食を通じた教育をしていかね ければならない。	・従業員全員が新家青果のビジョンを共有 する。 ・小学生等の工場見学を年1回以上受け入 れる。	5
人系	ジェンダーレス								١.	•								1					1								2	現在管理職 6 人のうち女性管理職は 1 人	女性管理職の積極採用	2030年までに女性の管理職を30%を 超えます	
人系	安心して働くことができる職場づくり	•	•					•	•	•	•	•	•											1							1	事業継続計画 (BCP)策定済み 南あわじの工場立地 (安全な場所に立地している)	事業継続計画(BCP)のレベルアップ	現行BCPの更新(充実)を2024年度までに 完了させる	1
人系	不平等のない世界									•		•	•	1	1	1	1	1	1	1	1		1						1	1	11	白社農園の有機栽培の実践	自社農園の有機栽培を確立させ、日本・海外の色ん な地域で有機栽培を確立させる。	飢餓で苦しむ地域で自立できる栽培を教え て実現させたい(2050年)	
	合計数 (参考値)													5	5	7	5	2	7	3	5	3	2	5	5	4	6	9	2	3	78				